記事
Hiroshi Sato · 2020年10月19日 3m read

クラス定義に基づき作成されたデータを別システムに移行する方法

これはInterSystems FAQ サイトの記事です。

2つのステップにて作業します。

クラス定義の移行

クラス定義を別システムへ移行するため、XML形式またはUDL形式（拡張子.cls）のファイルにエクスポートします。

スタジオでのエクスポート手順は以下の通りです。

[ツール] > [エクスポート]

> [追加]ボタンで移行したいクラスを複数選択

> [ローカルファイルにエクスポート]にチェック

> ファイルの種類がXMLであることを確認し、ファイル名を入力し、[OK]

この後、別システム上のスタジオで、エクスポートしたXML、UDLファイルをインポートします。

この手順で、クラス定義は移行できます。

スタジオでのインポート手順は以下の通りです。

[ツール] > [ローカルからインポート]

> 上記手順で出力したXML、UDLファイルを指定します。

データの移行

次に実際のデータを移行します。

オブジェクトデータは既定では、以下の命名規則のグローバル変数内に格納されています。

データ ：^クラス名D
インデックス：^クラス名I
ストリーム ：^クラス名S

例）User.testクラスのデータは以下の3つのグローバルに格納されます。

^User.testD, ^User.testI, ^User.testS

これらのうち存在するグローバル変数をすべて、システム管理ポータル（Caché5.0以前では、エクスプローラ）から、エクスポートします。

エクスポート手順は以下の通りです。 【バージョン2011.1〜】

管理ポータルを利用する場合、以下メニュからエクスポートを行います。

[システムエクスプローラ] > [グローバル] （[グローバル]をダブルクリックか、移動ボタンを押下）

> 左ペインからネームスペースを選択する
> [エクスポート]をクリック
> エクスポートしたいグローバルをチェックし、出力ファイル名を指定 【バージョン2010.2以前】

システム管理ポータルを利用する場合、以下メニュからエクスポートを行います。

データ管理→グローバル

→ 左ペインからネームスペースを選択する
→ 「エクスポート」をクリック
→ エクスポートしたいグローバルをチェックし、出力ファイル名を指定

次に上記ファイルを、別システムにインポートします。

インポート手順は以下の通りです。 【バージョン2011.1〜】

管理ポータルを利用する場合、以下メニュからインポートします。

システムエクスプローラ→グローバル （「グローバル」をダブルクリックか、移動ボタンを押下）

→ 左ペインからネームスペースを選択する
→ インポートをクリック
→ エクスポートしたファイルを指定
→ インポートを実行 【バージョン2010.2以前】

システム管理ポータルを利用する場合、以下メニュからインポートします。

[データ管理] > [グローバル]
> 左ペインからネームスペースを選択する
> インポートをクリック
> エクスポートしたファイルを指定
> インポートを実行

以上で、データの移行が完了します。

#システム管理 #Caché #Ensemble #InterSystems IRIS

ソースURL:
https://jp.community.intersystems.com/post/%E3%82%AF%E3%83%A9%E3%82%B9%E5%AE%9A%E7%BE%A9%E3%81%AB%E5%9F%BA%E3%81%A5%E3%81%8D%E4%BD%9C%E6%88%90%E3%81%95%E3%82%8C%E3%81%9F%E3%83%87%E3%83%BC%E3%82%BF%E3%82%92%E5%88%A5%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E3%81%AB%E7%A7%BB%E8%A1%8C%E3%81%99%E3%82%8B%E6%96%B9%E6%B3%95